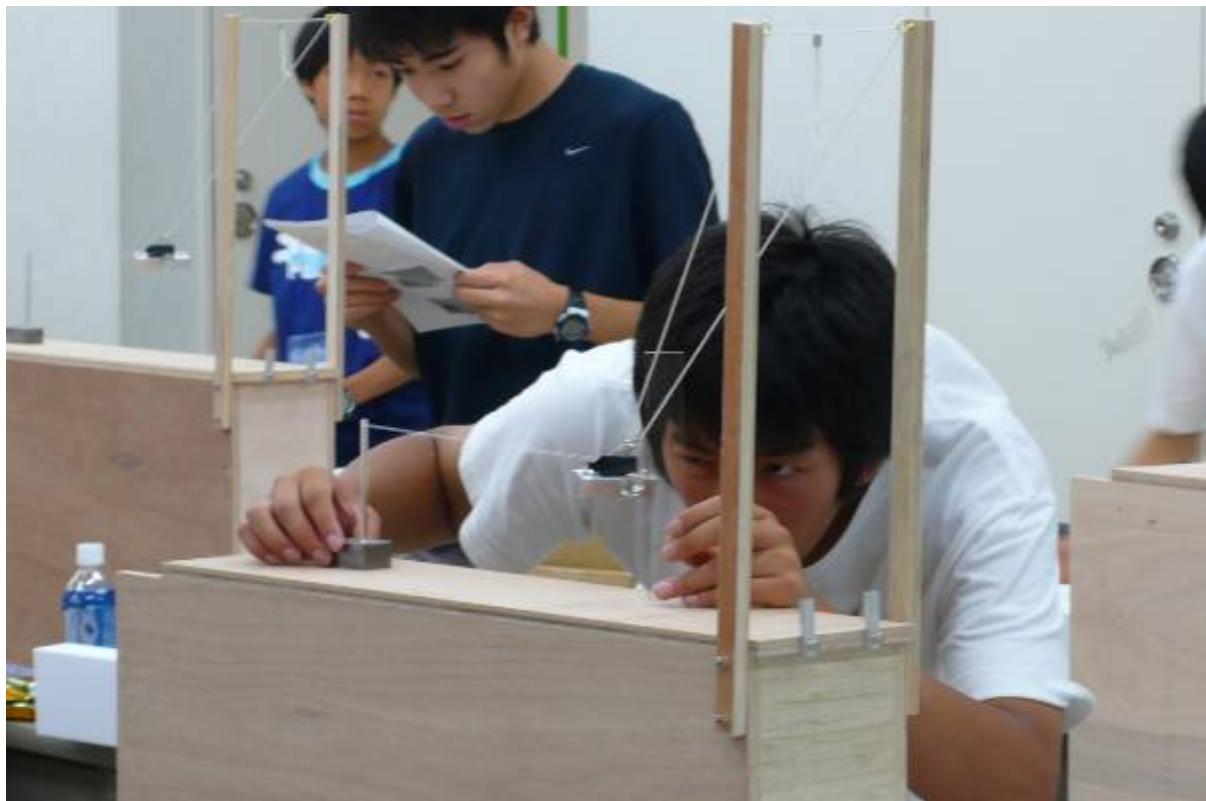


Physics Challenge 2009 at Tsukuba

物理チャレンジ式零零九 於筑波



2009/08/04

MarieCurrie 真理窮理

八月四日号

実験試験にチャレンジ



ついに最後のチャレンジ、実験問題が始まりました。どうやら今年の問題は力学のようですね。

チャレンジャーにインタビュー1



福富義章くんにインタビューしました。第1問についてです。

Q.問題1の印象を聞かせてください。

A.測るたびにばねの長さが変わったことは困りました。おもりを増やした後に減らして最初と同じ重さで測ると長さが5cmも変わったりして。3年生なので、国際オリンピックの選考だと意識することなく気楽に臨むことができたが、時間は足りませんでした。

Q.時間が足りなかったのは、問題数が多かったからでしょうか？

A.それもありますが、学校では理論ばかりやっていて慣れていなかったのもあるかもしれません。それに、5時間もあるから余裕だろうと高をくっていたことも原因です。一つの測定をするのに複数回の測定をしてその平均をとったり、はじめの方で丁寧すぎる測定をしてしまいました。

Q.ほかにどんな問題があれば面白かったと思いますか？

ばねを並列に接続したらばね定数がその和になるといった理論では分かってても感覚的には受け入れがたいことを、実際の実験で実感できるような問題があれば面白かったかもしれません。

チャレンジャーにインタビュー2



左側のΨが東川君

東川翔くんは、問題2についてインタビューしました。

Q. ではさっそくですが、問題2の感想を教えてください

A. クリップでやる場合と、ガイドレールでやる場合の結果が違ふことを最後に考察させるので、一貫性があって問題の趣旨が分かりやすかった。

Q. 苦労したことは？

A. ビー玉が転がったこと、微調整が難しかったこと。

Q. 出題者に言いたいことはありますか？

A. 1番のバネより、最後の2次元的な運動量をやりたかった。あと、ビー玉、鉄球の場合でも、クリップとガイドレールの違いを考察するとよかったと思う。

JAXA見学



実際に宇宙飛行士の訓練で使われる、無重力を疑似体験するためのプールを見学し、目の前に実物があることに感動しました。また、展示室で実物大の宇宙ステーションの模型の中に入ることができました。

産業技術総合研究所



産総研の地質資料館に行きました。きれいな鉱石や化石をたくさん見ることができました。

KEK見学



KEK内にあるB-ファクトリーとP-ファクトリーの見学に行きました。チャレンジャーたちは間近で見る巨大加速器に興味津津な様子でした。その後T2Kについての講演に聴き入りました。

交流会その1



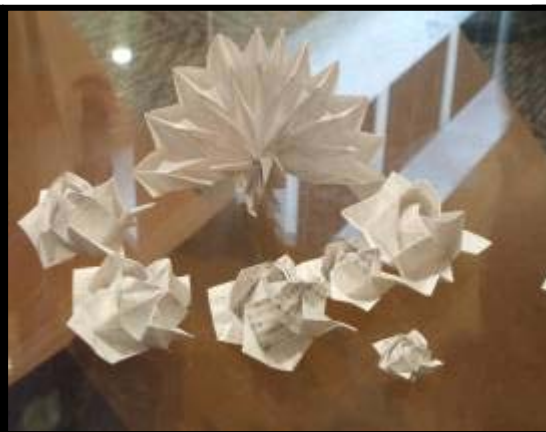
KEKの研究者の方々と一緒にお弁当を食べました。KEKで世界的に活躍されている方々と交流できる、貴重な機会でした

交流会その2



交流会では多くの参加者がパフォーマンスしてくれました。さすが物理チャレンジ参加者！企画した学生スタッフの側としてもとてもうれしかったです。

最終日の深夜





最終日、深夜3時。こんな時間まで参加者たちは、ラウンジでトランプをしたり、折り紙、将棋、物理の問題などを通して親睦を深め合っていた。みんなは、物理チャレンジに来てただ試験を受けただけでなく、きっとこのような交流を通じて多くの新しい友人を得たことだろう。ここで知り合った友人との関係は、ぜひこれからも大事にしてほしい。

そして数年後、みんながOB・OGとなったときに機会があれば、ぜひ学生スタッフとしてチャレンジ・オリンピックを盛り上げてください！